

令和 2 年度 飛翔認定こども園事業報告書

1. 飛翔認定こども園運営状況

(1) 施設運営の法的根拠

社会福祉事業法第 2 条第 3 項による第 2 種社会福祉事業であり、児童福祉法第 3 5 条第 4 項による児童福祉施設として認可を受けている。
札幌市長認可（平成 24 年 4 月 1 日札子施第 3626 号指令）
幼保連携型認定こども園として平成 30 年 4 月 1 日認可を受けている。

(2) 施設の目的

児童福祉法の規定により「児童が心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない」（児童福祉法第 1 条）を掲げ、子ども・子育て支援法の規定に基づき、入所する子ども及びその保護者に対して適切な保育・教育を提供することを目的とする。

(3) 入所園児実績数

定員 100 名 （内訳） 3 号認定～45 名（1 歳未満 15 名、1 歳以上 30 名）
2 号認定～45 名
1 号認定～10 名

令和 2 年度 入所園児実績数 （単位：人）

月	乳 児	1～2 歳児	3 歳児	4 歳児以上	計
4 月	11	40	19	41	111
5 月	12	40	19	41	112
6 月	13	40	19	41	113
7 月	13	40	19	41	113
8 月	13	40	19	40	112
9 月	13	39	20	40	112
10 月	13	39	20	40	112
11 月	14	38	20	40	112
12 月	14	39	20	40	113
1 月	15	40	20	40	115
2 月	15	40	20	40	115
3 月	20	40	20	40	120
計	166	475	235	484	1,360

入所率 113.3% < 120%

2. 保育の内容

(1) 保育理念・保育目標・保育方針

《 保育理念 》

感謝・謙虚・共感

《 保育目標 》

- ・よく遊び、夢に向かって生きる子ども
- ・豊かな感性をもち、人や自然、物を大切に作る子ども
- ・自分で考え、行動できる子ども

《 保育方針 》

- ・人権に配慮し、一人ひとりの人格を尊重した保育を行う。
- ・子どもの発達に応じた人、物、場等の環境を構成し、工夫して保育を行う
- ・専門性や認定こども園の特性を生かし、保護者、地域への子育て支援を行う。

(2) 特別保育事業

・開所時間延長促進及び時間外保育促進事業

保育時間については、1日8時間を原則とし、地域における保護者の労働時間その他家庭の状況等を考慮しているが、保育教諭配置の充実を図り、11時間の開所時間の始期及び終期前後の保育需要への対応の促進を図り、延長保育事業を行う。

保育短時間 8時00分から16時00分

保育標準時間 7時00分から18時00分

令和2年度 時間外保育利用児実績数 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
短時間	0	12	2	37	38	9	41	17	19	20	22	24	241
標準時間	189	111	213	194	173	244	312	249	231	218	237	291	2662
実績数	189	123	215	231	211	253	353	266	250	238	259	315	2903

・障がい児保育

障がい児を受け入れ、発達の遅れやそれぞれの障がいを理解し、保護者や子ども未来局子育て支援部保育課、区保健福祉部、児童相談所等の療育機関や専門の医療機関との連携をとりながら、保育し、支援していく。

令和2年度 障がい児保育実績数 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
園児数	16	16	23	22	18	20	21	20	30	32	32	41	291

・一時預かり

満2歳児から就学前までの受け入れを行う。断続的・短期間就労等の就労形態の多様化に伴う一時的な非定型保育、保護者の傷病・看護等による緊急時保育、さらには育児に伴う心理的・肉体的負担を解消する私的理由等、決定された一時預かりを行う。

令和2年度 一時預かり(一般形幼稚園タイプ)利用児実績数 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
就労	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
緊急	0	0	0	0	0	3	4	0	0	0	0	0	7
私的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	3	3	4	0	0	0	0	0	10

(3) 保育の内容

年 齢 区 分	領 域
6ヶ月未満児	生活(食事・排泄・睡眠・保健衛生)・遊び
6ヶ月～1歳3ヶ月未満児	生活・遊び
1歳3ヶ月～2歳未満児	生活・遊び
2 歳 児	生活・遊び・人間関係
3 歳 児 以 上	健康・人間関係・環境・言葉・表現

<乳児>

保育計画をもとに0歳児は個人別指導計画、1歳児は月齢の近い子で構成したグループで指導計画を毎月作成し、個人記録は毎日、生活と遊びの項目に分けて記入している。一人ひとりの発達に応じた保育を行い、日々保護者と連絡帳を交換し合い、家庭との連携を密にとっている。

<2歳児>

保育計画をもとに年間指導計画、月案、週案を作成し、4期(3ヶ月ごと)に分けて個人記録を記入している。基本的な生活習慣の自立を援助し、一人ひとりの発達に応じた保育を行っている。随時、保護者と連絡帳等や口頭にて連携を密に取り合っている。

<幼児>

異年齢児保育を生活の主体とし、保育計画をもとに異年齢児年間指導計画、月案、週案を作成し、年齢ごとの年間指導計画による年齢活動の月週案の作成と2期(半年ごと)に分けて個人記録を記入している。4, 5歳児は、体育指導の年間計画、月週案を体育指導担当が作成している。

(4) 行事实施報告

月	行 事	月	行 事
4月	6日 身体測定週 23日 避難訓練	10月	5日 身体測定週 7日 小遠足 16日 焼き芋会 21日 避難訓練 22日 園医訓練
5月	11日 身体測定週 21日 避難訓練	11月	5日 交通安全教室 6日 避難訓練 9日 身体測定週
6月	1日 身体測定週 11日 ミニ遠足 24日 避難訓練	12月	7日 身体測定週 8日 生活発表会(ビデオ撮影) 23日 避難訓練 25日 クリスマス会
7月	6日 身体測定週 6日 避難訓練 19日 ぞうの日(年長児)	1月	4日 身体測定週 8日 新年餅つき会 15日 年長児懇談会 21日 避難訓練
8月	3日 身体測定週 7日 七夕まつり 27日 防災訓練	2月	1日 身体測定週 2日 節分お楽しみ会 26日 避難訓練
9月	3日 歯科検診 7日 身体測定週 12日 運動会 24日 人形劇観劇 25日 避難訓練 26日 年長児親子遠足	3月	1日 身体測定週 3日 ひな祭りお楽しみ会 13日 卒園式 15日 お別れ会

3. 飛翔認定こども園の特徴

(1) 異年齢（3・4・5歳児）のクラス編成

日常生活のなかで、年齢差のある子どもたちが一緒に過ごすことにより、各々の違いを知り、憧れやいたわりの気持ちを抱き、生活・遊びなどをごく自然に伝え合いながら、より良い成長・発達ができることをねらいとしている。

(2) 年齢別活動

0歳児、1歳児、2歳児クラスは、毎日の保育を年齢別としている。
3, 4, 5歳児も年齢ごとの活動を週に2回(火・水曜日)行い、各年齢に合わせた絵画制作、運動活動等、同年齢ならではの活動もバランスよく取り入れている。

(3) 規則正しい生活リズム

毎日の生活が規則正しく繰り返される日課の経験は、子どもの生活リズムを安定させる。子どもの活動に見通しをもたせ、自発的に行動し、意欲的に取り組む力が身につくように心掛け、環境を整えている。

(4) 一人ひとりを大切にする保育

子どもにとって「第二の家庭」となるよう、保育環境に配慮し、一人ひとりの人格を尊重し、丁寧な保育を心掛け、心の土台となる信頼関係を築いていく。

食事の席や午睡場所は、家庭と同じように自分の場所が決まっていることで安心感を与え、自立へとつなげていく。

(5) おもちゃ・絵本・わらべうたのある環境

子どもが自分の好きな遊びを選べるよう、発達に合わせた良質な玩具を用意し、構成遊びやルールのある遊び、ごっこ遊びなどを通して、自分を十分に発揮し集中して取り組めるような環境づくりを心掛けている。又、毎日絵本を読み聞かせ、美しい日本語や言葉遊び、ファンタジーの世界などを楽しみ、心が豊かに育つように、様々な絵本を選んでいる。

わらべうたは、乳児から保育教諭と一対一で行い、発達を援助したり、人との関わりを大切に考えている日本の文化を伝えている。

(6) 自然と触れあう保育

戸外遊びを毎日の日課に取り入れ、四季の自然の中で五感を十分に使い、丈夫な体作りをしている。小雨でも幼児は雨具を着て雨の日ならではの自然を楽しむ散歩を行っている。また、園庭には実のなる木(クルミなど)を植樹し、プランターでじゃがいも、ミニトマト等の生長を楽しみ、収穫を味わっている。

冬には園庭や近くの公園で、米袋のそり遊びや雪像づくり等雪の感触を楽しんでいる。四季を問わず、園庭や近くの公園で自然探索や戸外遊びを十分に行っている。

(7) 体育指導 (4, 5歳児)

週1回、体育指導担当保育教諭が体力づくりに重点を置き、鉄棒、跳び箱、マット等を使った器械運動やサッカー、ドッチボール等で集団でのルールやゲームの楽しさを伝えている。

(8) 絵画造形教室 (4, 5歳児)

カワイ絵画造形教室講師の山下真由美先生が、子どもの発達を考慮して活動計画を作成し、子どもがイメージを広げ、想像力や創造力が育つよう指導し、活動の中で絵具や筆、はさみ等の使い方も学んできた。

(9) リトミック (4, 5歳児)

音楽療法士でもあるリトミック講師の武田克江先生が、年齢に合わせた指導計画を作成し、ピアノの音色に合わせて身体を動かす中で、音の高低、リズム感等を楽しみながら養ってきた。

(10) サッカー指導 (4, 5歳児)

DENOVAサッカーコーチの佐藤佳亮コーチと喜多圭介コーチの2名が、楽しみながら体の動かし方やボールに慣れるよう指導し、後半はルールを理解しながらチームに分かれて試合形式のゲームを行ってきた。

(11) 異文化交流 (5歳児)

ハックルベリー英会話教室の先生が、年長児にカードや絵本、音楽等を使って英語に親しむプログラムを行った。年長児が、小学校での英語教育を受ける前段階として、自分と違う文化に興味をもち、世界の広さが感じられるよう楽しみながら英語に触れることができた。

4. デイリープログラム

0・1・2歳児	時 間	3・4・5歳児
順次登園・視診	7:00	順次登園・視診
室内遊び		室内遊び
午前のおやつ	9:00	
遊び（戸外・室内）	9:30	戸外遊び（園庭・散歩）
わらべうた、絵本		
離乳食	10:30	室内遊び
食事（1歳児）	11:00	
食事（2歳児）	11:30	わらべうた、絵本
食後順次午睡	12:00	食事
		食後順次午睡
目覚め・排泄・おやつ	14:30	目覚め・排泄・おやつ
遊び（室内・戸外）	15:30	戸外遊び
		室内遊び
順次降園		順次降園
延長保育	18:00	延長保育
閉園	19:00	閉園

5. 給食

(ア)給食の意義

給食は、食育という保育の重要な一部門であり、幼児の心身の成長発達と健康の保持増進に必要な食物を供給するとともに、給食を通して望ましい生活習慣をしつけ、栄養や衛生の知識を与え、また幼児の家庭や地域社会の食生活の合理化にも重要な役割を果たす意義を持つ。

(イ)給食の区分

給食は離乳食、1~2歳児食、3~5歳児食、食物アレルギー児食に分類して、年齢に適した調理によって給食を行った。

(ウ)給食形態

全園児、「ご飯」「パン」「麺」を含む完全給食を実施した。

献立は、札幌市保育所給食基準献立を基本として実施した。

行事食は行事にちなんだメニューを工夫し、提供した。

午後のおやつは手作りを心掛け、長時間保育を考慮し、腹もちの良いものを基本とした。

食育指導計画を作成しており、保育計画に取り入れた。

6. 避難訓練及び消火訓練

消防法に則り、防火管理者（園長）の指揮の下、自衛消防隊を組織し、乳幼児の生命を守り、安全対策を行った。

各種災害等の避難訓練及び消火訓練を行うことにより、各々の状況で臨機応変に判断し、避難誘導等の適切な対応ができるようになった。

令和2年度 避難（消火）訓練実施一覧

実施日	訓練内容	開始時間	出火場所	避難場所	参加人数	
					園児	職員
4月23日	火災	10時00分	3階機械室	避難方法確認のみ	41	20
5月21日	地震	9時45分		避難方法確認のみ	57	15
6月24日	火災	15時15分	3階機械室	園庭	85	31
7月6日	竜巻	10時00分		廊下等	96	22
8月27日	火災	10時00分	3階機械室	園庭	97	29
9月29日	地震	予告なし 15時00分		サイクリングロード	113	28
10月21日	浸水	15時00分		3階ホール	96	23
11月6日	地震	予告なし 9時15分		豊園公園	102	30
12月23日	火災	予告なし 9時30分	3階機械室	玄関ホール	102	21
1月21日	不審者	予告なし 15時00分		各部屋	107	21
2月26日	地震	予告なし 15時00分		豊園公園	94	19
3月	火災	9時40分	3階機械室	玄関ホール	106	19

※ 消火訓練は、毎回行う

7. 職員研修・会議等

(1) 職員の資質と職務能力を高め、乳幼児保育の向上を図り、自己研鑽に努めるよう次の研修を積極的に行った。

令和2年度 参加研修一覧

研修日	研修名	主催	人数
4/14、6/9 8/18、10/13	絵本セミナー 「こどもの生活と絵本」	札幌第一こどものとも社	1
4/16、6/11 8/20、10/15	伝承のわらべ唄講座 「初めて学ぶ伝承のわらべ唄」	札幌第一こどものとも社	2
4/28、6/23 8/26、10/20	保育実践セミナー 「遊びを紐解く」	札幌第一こどものとも社	2
4/30、6/25 8/27、10/22	基本の「き」 「遊びの基本おもちゃの役割」	札幌第一こどものとも社	1
7/21、9/15 9/29、11/17	保育実践セミナー 「乳児の基本を知るヒント」	札幌第一こどものとも社	1
7/22、8/17 9/10、11/6	認定こども園新規採用職員研修	札幌市教育委員会	2
10/1	乳幼児の身体への見方、接し方	札幌市私立保育園連盟	1
10/5	札幌市における児童虐待防止への取組	札幌市私立保育園連盟	1
10/15	新任職員スキルアップ講座	北海道社会福祉協議会	1
10/29	担任一人でどこまでできる！？	白石区	1
10/29	発達援助研修	札幌市私立保育園連盟	1
11/26	保育士のための保護者支援	札幌市私立保育園連盟	1
12/16	就学前の発達と絵本	札幌市私立保育園連盟	1
1/21	園行事と保育の在り方を考える	札幌私保連白石区会	14
1/22	メンタルヘルス ラインケア	北海道社福共済会	1
2/12	わたしの今、保育の今、子どもの今	札幌第一こどものとも社	4
2/18	新人フォローアップ講習会	共済会	1
2/19	接遇リーダー講習会	共済会	1
2/27	アレルギー疾患講習会	厚生労働省	2

保育士合同研修会

開催日	令和3年2月6日(土)
会場 時間	各施設においてオンラインで実施 午後4時30分～6時00分(研修発表、講演会)
研修内容	園内研修発表 <ul style="list-style-type: none"> ・まきば認定こども園「てんかん発作の対応と理解」 ・札幌西友愛認定こども園「リズムジャンプによる子どもの身体づくり」 ・カシオペア「保育の基盤づくり～保育マニュアルの作成に向けて」

(2) 会議の計画

各種会議を行い、職員間の連携を図り報告、連絡、相談の徹底を図る。
会議内容は会議録に記入し、全職員に回覧、周知する。

会議内容	日時	参加者
保育会議	毎月第1金曜日 13時～14時半	園長・主幹・保育教諭
職員会議	毎月第4金曜日 13時～14時半	園長・主幹・保育教諭・栄養士・事務
リーダー会議	毎月1回 13時半～14時半	園長・主幹・各クラスリーダー
クラス会議	各クラス毎月1～2回 13時半～14時半	各クラス保育教諭
研修会議	毎月1回 19時～21時	園長・主幹・保育教諭